

## 火山噴火予知連絡会「霧島山（新燃岳）総合観測班」の解散について

火山噴火予知連絡会は、平成23年2月3日に霧島山(新燃岳)の火山活動評価のための各種観測計画等の検討及び総合的な調整、並びに観測の実施と情報共有を行うことを目的に、霧島山（新燃岳）総合観測班を設置し、新燃岳の火山活動の監視・評価のため、観測・監視体制強化を各機関が連携して行ってきました。

また、同年2月8日には霧島市霧島総合支所（鹿児島県霧島市霧島田口8番地4）に、総合観測班現地事務所を開設しました。

特に警戒区域内での調査観測、観測機器の復旧や強化作業にあたっては、安全を確保するため、福岡管区気象台火山監視・情報センターと作業実施者との間で火山活動状況を共有しながら進めてきました。

各機関による総合観測班としての作業により、新燃岳及びその周辺の火山監視体制は強化され、また、この間に実施された各種観測成果は火山噴火予知連絡会に報告されるなどし、従来以上に適切な活動評価が可能な体制を構築することができました。

以上のように、新燃岳の火山監視・観測体制の強化が一段落したこと、今般、霧島山（新燃岳）の火山活動が落ち着いた状態にあることから総合観測班を解散することとしました。

なお、今後も、気象庁は、大学等関係機関と連携し、新燃岳の火山活動の厳重な監視を継続していきます。